公民館報 こすど

発行所 小須戸町公民館
新潟縣中蒲原郡小須戸町
編集兼発行人 印刷人 矢部藤三郎

準備完了！

圖書の貸出し 映寫機の購入

今年の二大目標、図書の貸出しと映写機購入の計画は、各委員の手によつてそれ〳〵すゝめられて來ましたが、どちらも時を同じうして実現の運びとなり、こゝに十年來の夢が、漸く実を結ぶ段階に入りました。

どうぞ皆さん、この施設を十分に活用して下さるようお願いします。

▼圖書の貸出し

貸出し図書の大部分は会員の会費によつて集積された「読書クラブ」の本であります。冊数はおよそ一千冊で、本年度は町予算がないため、新購入図書も一切読書クラブのものが廻ります。從つて新しく買入れた図書はしばらく貸出しに廻らぬかもしれません。

貸出規定

一、貸出し日
三と八の市日。
昼 十時—十二時。
夜 七時—九時。

二、料金
保証金として百円也。これが一ヶ年分の料金になります。

三、貸出し期間
十日間

四、當分は、読書クラブ会員が交替奉仕で當ります。

五、尚「読書クラブ」は三ヶ月百円、一組四名乃至六名で各自の回覧によつて運営されています。

加入御希望の方は公民館宛お申込み下さい。但し、一組の編成ができるまでお待ちねがうこともあるかと思いますが、予め御承知下さい。

▼映寫機

予算難とたゞかい続けて來た映写機も、この度商工会の盡力で購入目当てもつき、去る二十六日町小学校で三社の競映会を実施し、技術者諸君より推薦された「映写機」を購入と決定しました。

各部落、町内の皆さんにお目見得して喜んでいただく日も近くなりました。幻灯と併用して、どし〳〵御利用下さるようお願いします。

町の人口

27年6月現在

町名	世帯数	男	女	計
町部	837	2.260	2.420	4.680
鵜出古水	98	304	329	633
横川	85	279	284	563
小向	53	179	187	366
水田	46	161	184	345
鎌倉	79	225	271	496
天ケ沢	125	345	355	700
矢代田	385	1.042	1.110	2.152
新保	173	552	596	1.148
龍玄	47	168	185	353
合計	1.928	5.515	5.921	11.436

町を湧かせる お祭り行事

地獄の釜のふたもあくお盆—このお盆から祭りへかけての町の催し計画をのぞいてみよう。

盆踊りの太鼓を遠くに先ず「少年野球大会」が野球ファンの血をわかせ健闘組には山岳会が信仰のお山「飯豊山」を誘つている。又中学校同窓会では、一年一度の語らいを楽しみに他郷へ出た友達との同窓会を計画している。

こうしてお盆が過ぎると鳥つく暇もなしにお祭りが來る。

燈籠協会、商工会、商店街を中心に、目下盛んな会議を重ねて、町中をお祭りに湧き立たせるべく計画中—去年より盛大な燈籠押しは間違いないところ。

恒例の「囲碁將棋大会」も中壯年層が首をのばして待つている。

それに、青年團を中心の「小須戸音頭」も昨年の好評に、引きつゞいて計画されるに違いない。

町長盃争奪の「町民野球大会」は新しく設備なれる町裏グランドをゆるがすこと、例年の通りであろう。

涼風の立つ頃には小須戸の七夕さま「すわらじ劇團」がやつてくる。今から楽しみに待つもののの一つである。

購入図書

読書クラブ

生きている日本史 高木健夫
弁慶（旅路の巻）富田常雄
面白倶楽部 夏季増刊
文藝春秋 八月号
オール讀物 九月号
坂道 壺井栄
傳説パトロール
あゝ朝鮮 張赫宙
一億囚人 大宅壯一
人間の歴史㈠ 安田徳太郎
〃 ㈡ 〃
白い役人 山口晋平
日本再登場
レ・タン・モデルメ誌

館報を……

町を離れているあなたの兄弟、知人に送りたい場合は、切手を公民館にお預け下さい。毎月送つてあげます。

連合青年團役員改選

新團長は木村敬三郎君

團の育成発展に力を注がれた田中重三團長欠田書記局長は今回一身上の都合で辞任、後任團長には、副團長であつた木村敬三郎氏が選出された。

尚新役員は次の通りである。

團長 木村敬三郎
副團長 須藤七郎
〃 川瀬弘一
会計 野崎清治
事務局長 五十田清一
▽教養部
委員長 松尾健一
副〃 金田良治
▽体育部
委員長 吉田敏雄
副〃 保科博
▽婦人部
委員長 大貫エミ子
副〃 白井しげ子

又町部青年團も連合青年團に加入すると共に、未組織町内の設立に力を注ぎ名実共に町の推進力たらしめんと努力中である。

中蒲原農業經営論文に 会田良治君 …一等当選…

中蒲原地方事務所ではかねて農業の経営改善に関して論文を募集中であつたが、郡内各町村から数十べんの應募があり、各專門家が厳選の結果、当町横川浜の会田良治氏『私の農業経営、改善の実際』が首席一等に當選した。

その論文は本紙上に來月より漸次掲載する予定である。

石打だより

石打駅長 中沢正紀

轉勤いらい、何やかにやでゴタ〳〵している中に季節も夏になつてしまいましたが、すつかり御無沙汰いたしました。

石打村には小学校が二校ありますが、駅前にあるのが上関小学校といいまして、昨年の冬からの催しで山の学校と海の学校ということで生徒の交換をやるのであります。

海の学校と申しますのは横浜市の浜小学校といゝまして、この冬に浜小学校の子供が石打に來て各子供の家に泊り、スキー等をやつて、帰つたのでありますが、この夏には石打の上関小学校の子供が冬に來た子供の家に泊めてもらい、海水浴とか市内見物等をしてくることになつております。

いづれも宿泊は無料で小学六年生だけで、毎年これを続けて行くのだそうです。

山の子供は海や町へ、海や町の子供は山へというわけで、子供等のために有益のことゝ思われます。

●●●寄贈御礼

幻灯スライド

第四銀行
ぼくらの親銀行
歯科医師会
小ざるの正夢
郵便局
うさぎの郵便やさん

其の他

田中雨具店
電蓄手提部皮革品一
白井村PTA
五〇〇円
—以上幻灯委員会
朝日生命新津支局
メダル七ケ

縣代表の館長さん

縣代表として田中館長さんが、郷土の輿望を担つて東京大会に出場される。——といつても、これは甚の方の話。

毎日新聞社主催の「全日本アマチュア囲碁大会」に、新潟縣代表に選出されて、七日より始まる大手合に勇戰敢闘される筈。

どうぞ、精一ぱいの御声援をねがいます。

乱れかご

館報についての論文が人募集されておりましたので、一言筆を走らせていたゞきます。

先ず結論から申上げると館報にはうんと力を入れていたゞき今后一ヶ月に二回三回と発行して町の文化、青年の教養を高め、明るい立派なうたとうりわれ〳〵青年の教育機関でもあるものです。それが、商人の商売上の広告では、せまい紙上で何更にせまくなつ

館報広告について

龍玄 川瀬資郎

町の文化、青年の文化を高めることは不可能ではないでしょうか。

又あんな狭い紙上に商人の商売の広告などをのせては、公民館の発達はみられないと思います。

私がなぜこんなことを申すかというと、館報はすから、今后はあのように高めることは不可能ではないでしょうか。

又いま一つは、いつも同じ広告ばかりが毎月の館報にのせてあるから、他の商売の者が、公民館報はつまらない広告ばかりのせてあるから館報なんか止めてしまえ、という者さえ出るようになつて來るのでありま

公民館の成長を祈つております。

◇お答◇

御承知の様に町の財政は火の車です。從つて館報の経費も実は「印刷費」だけで編集上の諸費用は計上されてないのです。

又せまい小須戸で、町民だけしか読まぬ館報は広告としても大した價値はない筈なのです。それをお願いして経費の一端に援助して頂いているというのが現状です（編集員は無論奉仕）

で館報の発展上からも御支援広告を多数の皆様から頂ければ有難いのです。尚この様な意見は今後とも是非おきかせ下さい。

掲示板

ラジオは招く 一、二、三——

澄んだ朝空の六時半……一日より町小学校とお訪ぎさまで（青年團）

県大会目指して！ 連合青年團体育大會

◎八月三日 朝八時半より
◎小須戸中学校グランド
△郡大会……八月十日（村松）
△縣大会……八月廿三、四日（佐渡）

八月の巡廻幻灯会

一、日本の風景 北海道の巻
二、マンガ ピノチオ
三、赤痢予防 集團の人々
四、中国劇 桃源にて
五、さるかに合戦
六、宮本武蔵（二天の巻）

受胎調節講習會

時 八月上旬
所 公民館ホール
主催 町役場 婦人会公民館

信仰のお山 飯豊登山募集

○八月十四・十五・十六日
○会費 七百圓
○申込 小須戸山岳会 又は 公民館

野球大会

お盆 少年野球大会
お祭 町民野球大会
○町裏グランドで

お盆！お祭りには……
一家そろつて「小須戸音頭」を

囲碁將棋大会

八月廿六日 九時
公民館ホール
第六回
会費三十圓
賞品山積

小須戸中卒業生 同窓会

八月十六日正午から中学校で第三回総会を開催します

すわらじ劇園

お待ちかねの
九月上旬來演予定
—種目—
額田六彌作 時代劇 小梶丸 二場
阿木翁助作 現代劇 秋風の手帖 二幕
森鴎外作 時代劇 山椒太夫 十二景

放題

▼云いたい放題、書きたいホウダイ、この欄ばかりはおとがめ無用と、御容赦いたゞく前口上。

▼今年も又ぞろ、性コリもない水難ザタ、こゝらで一つ百年の大計はいかゞなものか。赤痢が怖くて泳がせぬ、ドザエモンがオッカノウテ叱つたところで、皆さん、おぼえがあろう子供の時代。

▼赤痢だ、腸チブスだで回覧板や衛生講話ぢや、テンデ、あつち向きの町民さま。

個人の注意もさることながら、共同施設と対策が傳染病への根本策のはず。

下水を見なされ、塵埃場をみなされ、共同便所だつて頭がやめよう。

古語に曰く先づ隣より初めよ—とね。

▼ある様でない様な商工会—と思つていたらおどろいたね。いつの間にやら終バス運轉の三十円が普通料金の十円になつていた。

▼どうでしょう、もう一頑張り町民のために、白根までの延長を。

そうすりや、六時から八時半までない新潟からの道が、白根通過で大便利。

白根の衆も矢代田駅利用で東京へも出られる。

▼—と角人間というもの慾に際限ないものらしいですナ。

▼この慾が又原子爆弾に結びつき、テレビジョンに発展する。おかしなものですて。

おひまがあつたら安田德太郎著「人間の歴史」を読んでみて下さい。今評判の好著です。コレダケはマジメなり。

▼ある女子高校の一学生曰く「この間バスの中でよその学校の先生方？が小須戸の町はねむつてるね、一年〳〵さびれて行く様な町だね。と云つてるのをきいたら、ムヤミヤタラにムシヤクシヤしてきた。」

▼「そして、そのくせ、心の中では、こんなことで小須戸の町は一体どうなるんだろう。ダメな町だと始終考えてるんだけど」……とおつしやつた。

▼その言やよし。まことによし—と思うことは思うのですけどね。

皆さん一体どう考えます？

出生・死亡

戸籍課

自 六月廿一日
至 七月二十日

▼出生

小須戸 加藤勝治
〃 加藤止彦
〃 古川裕子
〃 石井秀明
〃 田上夏子
〃 五十嵐久美子
〃 丸山由美子
天ケ沢 小林実
〃 三浦英津子
矢代田 増井良子
〃 坂井栄子
〃 山口武七
〃 坂井又治
〃 古泉儀雄
新保 五十嵐知津
〃 大貫信也
〃 中野一夫
龍玄 清水宏子
〃 相馬稔
水田 岡田米雄
横川 大塚英子
鎌倉 高橋久子
曽野木 西村孝子
小林村 伊藤喜良
東京 五十嵐貫

▲死亡

小須戸 内田久子
〃 上田条三郎
〃 竹石チカ
〃 藤井キソ
〃 城丸ナカ
天ケ沢 平山タセ
矢代田 武沢洋子
〃 穴沢孝一
新保 丸山一馬
〃 高山ハリ
〃 高山与作
〃 浅間チエ
横川 吉田德男

水難を悼む

七月十日夕やみせまる頃小須戸橋上流信濃川の中洲から水魔に誘われて生後八才の二つの魂はかたく結ばれて天国にかえつたのであります。

それは加藤豊弘君新井田弘君の二人であります

それから不安の日を重ねて加藤君は万代橋下流に新井田君は大秋で発見されその日の中にダビにふし朝の紅顔夕べの白骨

御礼

この度は、私共おろかな親の不注意によつて子供を不慮に失わせましたのみか、関係各位、町民皆さまに非常な御迷惑をおかけいたし誠に申訳ございませんでした。

又水位不定の困難下にも拘らず、温い皆さまの連日連夜の御捜索によつて無事両死体を收容できましたことを厚く御礼申上げます。

どうぞ、この私共の不注意をよいみせしめとして、何卒皆さまの愛児をおまもり下さいます様お詫びに代えてお願いいたす次第であります。

下興野　佐藤善之亟
加藤敏雄

水難対策をきく

夏を迎える年毎に繰り返される尊い水の犠牲者——
子を持つ親として、このまゝこの問題を姑息な手段で片づけるには余りにも歎きがひどすぎる。……
ある夜、公民館に集会された諸氏から意見をきいてみた。

◇岡元京一氏
子供にとつて夏、水に入ることがどんなに大きな慰望であるかは、自分が子供の時を考えればよく分ると思う。
いろんなことを禁止して子供をとじ込めることがどんなに害になることか。大人に反抗する口を持たない子供だけが勝手な慰望をおさえられる法はあるまい。
だからこそ、これは全町の問題として、安心しておよげる場所を早く作るべきだと思う。
人命の問題をあとまわしにして先に立つものはない筈である。子供を貴めずして全町でこの対策打ち立てたい。

◇横川女子青年
水田女子青年
私たちは便利な溜水堀があるので、割合に町の人たちの様な心配はありません。
水難対策としては、やはり監督づきで水泳区域を作り、そこで子供たちを集めてやつた方がよい様に思います。

◇一青年（匿名）
監視づきで大人にしばられながら遊ぶというのはでかさない。
必ず抜け出すか、隠れるかしてやる子供がでるに決つている、そういうのに限つて事故を起すのだから、このことも考えるべきだ。

◇宮崎純能氏
河をおそれぬ子供を作れ！紀の国の吉野川からはヘルシンキへ六人も選手が送られた。
プールが出来れば更に結構と思う。

◇木村祐二氏
金が出来ればプールを作るべきだ。

◇加藤健吾氏
いろんな事故は父兄の放漫によることが多い。学校や先生にばかりなすりつけないで、家庭での責任を反省したい。
水泳には安全圏内を作ること、溺れる個所は大体決つている。理想としては、一人で行つても大丈夫な子を傳統的に作り上げたい。

◇一幻灯委員
信濃川の危険個処をスライドにして、子供たちによく徹底させる、ということも必要と思う。

◇佐藤勇氏
同じ使う金なら、悪しみのために使いたくはない。建設のために使つて活用したい。私は、プールを作るに五ケ年十ケ年の計画案を持つている。

◇渡辺暢三氏
早急の対策として先ず考えられるのは昨年の方法で、それに施設監視を増すということである。
というのは、プール作製の予算も早急にはできまいし、例えそれが出来たとしても信濃川のこの町ではプールだけでという事は出来まい。少しでも泳げればプールだけでは満足できないし、プールでは到底味わいない大川への魅力があるからである。要はその施設監視に万全を期し水を恐れない子供を作る事であろう。
そして子供はプールで基本仕上げをし、あとは河で自由にのび〳〵と遊ばせてやりたい。
水泳大会ぐらいはやつて、川を怖がる人間を作りたくはない。

亡き子に捧げる

栄森作司

拭いても拭いても拭きれない汗のでる暑さとなつてきた。
この季節になると子供の水遊びが盛んになる。水遊びこそ、子を持つ親のなやみの種と思う。
十年前の八月六日、目の中に入れても痛くない長男長女の二人を一度に郷土の海になくしてから間きおぼえに習つたお経を御佛の手向けに唱えるようになつた。
ことわざに「親に先立つ不孝者」というけれども私は「親に先立つ子は知識」と全く反対に考えている。亡き子供たちが残した数々の行跡が思え浮かんで数えられることが沢山ある。
親馬鹿心理の一端であろうか。
お食事のときに居たはずの子供が見えない時の心配は一通りではない。
溜池か堀か、もしや大川でもと、居ても立つても居られぬ。狂気のように探し廻る。全国津々浦々子を持つ親の心は皆一つであろう。
「注意、また注意」警察、学校、父兄の緊密な連絡協力で水難は防げるのではないでしょうか。
絶対危険なしと思つて実施しても遺憾く人命を失う。あの子が生きていたらと佛になつても思い出せば心臓が止りそうだ。
とんぼ釣り今日はどこまで行つたやら、と詠つた千代女の心がしみ〳〵と思われる。その子その子の運命と諦め切つた今はたゞ極楽浄土に安かれと祈つている。

追善自作歌
偉くなれ
なにゝ成るかと
日夜なでほゝえみし
子の今はなき世に

統男の傳

撮影　吉田起風氏

水難すでに五名

本格的の夏になり水に近寄りたいのが人情で、小須戸町でもすでに信濃川で二名、用水堀で一名溺死し、消防用水池で二名おぼれたが幸い助けられました。
各学校では夏休み中事故を起さないように場所と時間を指定し、八月一日から監視づきで水泳をさせることになりましたから御協力をねがいます。
又学校へ行かないかわいゝ子供のため、時には水泳につれて行つてやり一人では絶対に川や堀に近よつて水遊びせぬよう特に御注意を願います。
（警察署）

団体だより

▽中學校の郡大會
新津市も合同で
七月二十二日炎天下小須戸中グランドで第二回の新津市、中蒲原郡中学校陸上競技大会が開かれました。参加二十一ケ校二百余名の選手が火の出る様な熱戰を展開した。
小須戸中の入賞者は次の通りであります。
○女子一〇〇米
一等　間野綾子
○男子四〇〇米
一等　松沢　清
○男子一六〇〇米継走
二等　小須戸中チーム
○女子四〇〇米継走
二等　小須戸中チーム

▽新保青少年赤十字團の近況
今回の水難事件には、青年率仕團が十四五名宛の組を編成して田勛協力、赤十字精神の昂揚に努力しています。

▽種豚組合
熱心と努力で知られる鎌倉の松尾安太郎氏所有の種豚が、この度縣下六番目の高等登録豚としてみごとに合格、これは苦心の結晶である。

▽婦人会
「新潟友の会」を囲んで「やりくり上手な家計を語る」座談会を、七月三十一日午后一時から公民館ホールで開催した。

▽みどり会
●七月二十日公民館階上で佐久間講師を招き「洗濯講習会」を開催、受講者三十名。
●お盆の「慰安映画会」八月十二、三両日
映画「關の彌太つぺ」
場所　新盛館
会員家族に限り一人十円です（入場券を上げます）

▽野球部だより
皆さまの温い御支援によつて、われ〳〵待望のバックネットが工費七万五千円で完成いたしました。お礼申上げます。
——お願い——
トラック、三輪車をグランドに乗り入れぬよう又雨上りの足駄もえんりよして下さい。

▽新野球部設立
今回新たに商工業者の子弟を中心として、野球部が新しく生れました。名前は「コンマシャール倶楽部」
熱心家よ來れ！
申込は小松屋商店へ

●募集●

(1) 上の写眞で思つたこと感じた事を書いて下さい。マジメなものでも面白いものでも一切あなたの自由です。
(2) 〆切は八月二十日まで
(3) 宛名は公民館編集部　【星賞】
(4) 小、中、高校、一般の四組に分けます。

牛どろぼう

去月十七日、豪雨の晩に金津村古津の斉藤良二さんの生後九ケ月、時價四万円という仔牛が盗まれた。わが子のように丹精をこめて丸々と肥つた赤の牝牛で、左の角が折れているのが特長です。
心當りでもありましたら知らせて下さい。

人命救助表彰

前号に掲載した水田部落の相馬ミヨさん(50)鈴木シズさん(39)相馬藤五郎さん(49)の三名が、後藤の青木藤三郎さん一家三名を救助した善行は、当時町署から具申してあつたところ、この程金一封を添えて表彰された。

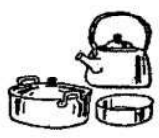
家庭欄

御存じですか

手軽な接着剤

働いても〳〵楽な生活の出來ぬのが現在の暮しではないでしようか、苦しい生活の中でもせめて心静かに考える「もの〻見方、考え方」の慾欲は持ちたいものです。
子供があやまつて木の細工物や瀬戸の装飾品などこわした時叱つてみても後のまつり。
こんな時速やかに手近に出來る接着剤でつぎ合せ、静かに言いきかせるのが効果的でもあり、そばで見ているのびゆかんとする子供の「ものを考える力」の養いにもなるのではないでしようか。

接着剤の作り方は
卵の白身に、メリケン粉をまぜ、ドロ〳〵にしたものを、こわれた目に塗り、かわくまで軽く結いておきますとニカワにも劣らぬ良い効果があります。



護摩堂の傳説を探る（二）

無筆庵宜敷

（一）落城

「おや」？護摩堂城は水が涸きたと思つていたが瀧が流れている。「あれをみよ」と厳重に護摩堂城を取り囲んだ敵陣の將士はいちようにさゝやき合うた。
彼等が指さすかなた護摩堂城の山頂からは、なるほど緑色に見える草木とはつきり区別出來る白い水が絶え間なく糸を引くように流れていた。
一ケ月近くも此のお城をかこんだ敵の將士も、水がつきて今に白旗が立つと思つていたのに、山頂から瀧が流れているのをみておどろいたのもむりはなかつた。護摩堂山の地形から考えても、外部から水を補給しなくてはこのお城に水があろうはずはなかつた。
実さい水ぜめにあうた護摩堂城では、もはや一てきの水もものみつくしてしまつていた。つゆをふくんだ草もかんだ、せめて死ぬまでに一杯の水にのどをうるおしたい、これはだれものねがいである。將士のくるしみは頂天にたつした。
もはや、絶体絶命となつた護摩堂堂城内では、生か、死か、最後の評議がなされた。死ぬのはいやだと云うものがある。負けた方がよいと云うものもある。ひきようものと叫ぶ声もする。運命にしたがうべきだと云うものもある。人生は計略だとかたわらの若者がさけんだ。
しばらく城内にはちんもくがつゞいた。山の小鳥はお城のことは、われかんせずと、大自然のふところにいだかれて、木々から木の間を楽しそうに歌つている。
だれしもが生きたいのだやがて一計が案出された。いのちのつなの米倉が解放された。
一つ、二つ……つぎからつぎへと米がはこばれた。流すのだ。
もつたいないと云うものがある。しかし今となつては米が人間を救う方法はいつまでも流れつきない、瀧とみせかけるよりほかになかつた。
「ざあ！〳〵」と一つの望みを託して米は山頂から流されていた。
しかし最後の一計もついに失敗した。女中のお雪は敵のまわしものでした。米を流しているのだと知るとお雪は夜陰にじようじて裏の崖からしのび出て護摩堂城の内情をつぶさに敵に報告しました。数時間後敵の大軍はカン声をあげて八方から護摩堂城へせめよせました。
無念……護摩堂城はくれんの炎と化して落城しました。その後にのこつたものは、なにごともなかつたように、一切無に帰し、眞理に目覚めた人間のたましいのさゝやきと山の松風の声と、いまにのこる黒茶色の焼米とに一場の夢と化した物語りがひめられているのみである。
この落城は長治二年黒鳥兵衛詮任が羽生田周防吉豊を攻めたときとも或は志田彌三郎居城のときだともいわれているが、いつの時代だかわからない。

七月の集會日誌

一日　金融公庫審査会
五〃　社会福祉協議会
六〃　保育團母の会
七〃　チブス予防注射
八〃　新津高校卒業生役員会
九〃　金融公庫審査会
十〃　視聴覚教育委員会
十一〃　俳句同好会
引揚者の会
十二〃　みどり会役員会
青年團役員会
十三〃　身体障害者の会
十四〃　青年体育部役員会
十五〃　みどり会役員会
酒類販賣店帳簿検査会
商工会総会
十六〃　水道視察員懇談会
十九〃　芸能部会
教養部会
経済部会
二十〃　洗濯講習会
厚生部会
廿一〃　幻灯委員会
山岳部会
廿二〃　チブス予防注射
廿三〃　町青年團役員
廿四〃　國保運営委員会
廿五〃　連合青年團役員会
総務部委員会
村木商打合会
燈籠協会
廿六〃　婦人会役員会
視聴覚教育委員会
廿八〃　運営審議会
廿一〃　「友の会と語る」座談会（婦人会）
読書会

ナショナル
ラヂオ　電気具
化粧品　食料品
濱屋
二番町　電112番

號
ヒドリ
無期限保証付
総ペアリング防水製
坂井輪店
電話　170番

肉
鳥　豚
鳥權精肉店
上田町　電53番

七夕を祭りしづかに吾子学ぶ　露風
袋より早桃の色気みせて居る　香月
もどり來し織娘囲みて星祭　山葵
機音のやむ頃霧の峰も消ゆ　蜂子
草臥れてかへれば坦鍋汁の香　流水